

December 1, 2004

Third Intercollegiate Negotiation Competition Newsletter

Vol.3, No.5 (2004)

インターカレッジ・ネゴシエーション
・ コンペティション運営委員会
The Steering Committee

第3回インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティションに参加していただき、有難うございました。運営に不手際も数多くありましたが、皆さんが熱心に参加してくださったことで、成功裏に終わることができたのではないかと、思います。各大学での準備の過程、そして、2日間の本番から、皆さんが何か貴重なものを得てくださったとしたら幸いです。

1. 最終結果

第3回インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティションの最終結果は以下のとおりとなりました。

1位	東京大学
2位	九州大学
3位	一橋大学
4位	大阪大学
5位	同志社大学
6位	上智大学

2. 審査結果について

本コンペティションでは審査の詳細は公表していません。他方、懇親会やティー・タイム、閉会式等、審査員自身の言葉で審査員からのフィードバックを皆さんに提供する機会を大切にしたいと考えています。

仲裁・交渉の審査は、審査員の問題の理解や主観によって左右される傾向があることは否定できません。現実の裁判や仲裁ではこのようなブレへの対応力も問われるのですが、この交渉コンペでは、運営委員会が審査員事前打合会を実施する等して審査員の問題や規則に対する理解を深めるとともに、進め方や審査基準についての審査員間のバラつきを少なくするように努力しています。しかし、未だ課題も残っています。運営委員会は、

審査のシステムの改善のための努力を続け、審査の客観性を高めていくつもりです。同時に、審査結果の公表についても、学習と教育に役立つような方法を工夫して、さらなる改善を加えていきたいと思っています。

今回の審査結果に関しては、全体的な傾向のみをお知らせしたいと思います。

コンペティションの審査は、各審査員が60点満点で各ラウンドを審査します。各審査員には30点を基準点として審査をするよう依頼しています。各チームはラウンドA、ラウンドBを通じて4名の審査員から審査を受けることとなりますので、最高で240点ということになります。各大学の点数は参加チームの得点を平均して求めています。

ラウンドAの全チームの平均点は73点、ラウンドBの全チームの平均点は74点、ラウンドA・Bの全チームの平均点は74点でした。

1位と2位の差は1点ありません。2位と3位の間は少し点差が開いていますが、3位から7位までの点差は5点以内に収まっています。

大学によって、ラウンドAで高得点を稼いだ大学、ラウンドBで高得点を稼いだ大学、ラウンドA・Bともに平均的に稼いだ大学といった違いがあります。ちなみに、最終的に1位になった東京大学は、ラウンドAでは4位でした。

一つの対戦は二人の審査員が審査をしています。二人の審査員の点数が10点以上違ったケースは、ラウンドA、Bを通じて、6ケースありました。

審査員による審査結果は確かに重要ですが、一つの評価に過ぎません。上記からもわかるように、何が良い仲裁・交渉であるのかについては、審査員の間でも意見が違ふことは少なくありません。

皆さんは、自分がうまく出来た部分と出来なかった部分、チームがうまく機能した部分と機能しなかった部分、相手がうまかった部分と下手だった部分などを、実感されたことと思います。ぜひ、皆さんのチームメイトなどとの率直な意見交換を通じ、コンペティションでの経験を今後役に立てていただければと思います。

運営委員会としては、審査システムの改善に努力したいと考えています。同時に、学生のみなさんには、点数化された審査結果に過度に拘るのではなく、準備の過程から本番にいたるまでの期間に皆さんが実感されたことや、生の言葉で伝えられた審査員や教員からのメッセージを大事にして欲しいと考えています。

3. アンケート結果

アンケートへの御協力有難うございました。全部で143名の方にご回答頂きました。アンケート結果は今後のコンペティションの運営に役立てていきたいと思っています。まだ整理の途中ですが、アンケート結果の一部をご紹介します。

Q：本コンペティションに参加してよかったと思いますか？

1. とてもよかった	110
2. よかった	30
3. まあまあ	2
4. あまりよくなかった	1
5. 参加しない方がよかった	0

ご批判のうち、最も多かったのは問題の訂正についてでした。来年以降の課題としたいと思います。

4. 忘れ物

次のような忘れ物が届いています。お心当たりの方は一週間以内に運営委員会までご連絡ください。ご連絡のない場合には処分いたします。

- ・ 白に黒の横線がはいった T シャツ
- ・ 白に青で草の絵が書かれたハンドタオル (marimekko)
- ・ 白のワイシャツ
- ・ 青のハンカチ
- ・ 茶色の靴下
- ・ 白のタオル
- ・ 黄色のハンドタオル
- ・ エンジのネクタイ

5. UNIDROIT 原則の返却について

大会用にお貸ししました『UNIDROIT 国際商事契約原則』は、来年度の参加者も使用するものです。大会の運営に支障をきたしますので、至急ご返却くださいますようお願いいたします。

【返却先】 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-31
大阪大学大学院 国際公共政策研究科 交渉教育支援センター
(06)6850-5629

6. ビデオ

住友グループ広報委員会が皆さんに寄贈して下さるビデオについては、完成した時点で各大学の先生方を通じてご連絡します。

以 上